

がんばれ！日本！その時 時代は動いた特集！

特集 10 宅配便の産みの親。徹底的にお客様の立場に立ち、サービスが先、利益が後を貫いた、日本の物流業界の先駆的経営者。

小倉昌男（1924年～2005年）

実業家 ヤマト運輸創業者
クロネコヤマトの宅急便の生みの親
ヤマト福祉財団理事長



① 1948（昭和23）年大和運輸株式会社に入社した。
大和運輸は1960年に長距離輸送進出するもすでに同業他社より出遅れ、1973年のオイルショックにより、さらに荷物が激減。

そのような危機的な経営状況で1971年に、病床の父から社長を引き継いだ最初の仕事は現状からの脱却だった。



② 小口の荷物の方が1kg当たりの単価が高い。小口貨物をたくさん扱えば収入が多くなると確信。
1976年「電話1本で集荷・1個でも家庭へ集荷・翌日配送・運賃は安くて明瞭・荷造りが簡単」というコンセプトの「宅急便」が誕生。



③ 1988年「夏の生ものを送りたい」という消費者の声にこたえるため、総額450億円の費用を投じ、クール宅急便を開発しスタート。毎年、2割増しの売り上げを記録していった。

④ 私財63億円を投じ、障がい者を支援するヤマト福祉財団を設立。「障がい者に施すという発想ではなく、自立を支援し利益を出させる」従来の考えとは違った支援を行った。

小倉昌男 名言集



- 自分に合った理想の仕事を探すのではなく、目の前にある仕事に惚れることが大事
- 考えて、考えて、考え抜く。でも、わからないことがある。その場合はやってみることである
- 消費者の動向に常に敏感にならなければいけないし、逆にそうした行為が会社を成長させ、さらには日本経済の活性化につながっていく

【今月のご長寿くらぶ ニュース】

賃貸情報誌オーナーズスタイルから、当社社長 取材を受けました！

時代は、高齢化社会ということもあり、新聞・テレビでも取り上げられない日はないくらい時代のキーワードになっています。

当社代表取締役社長 川又は、実の母親の介護をし、高齢者住宅に入居させるにも、なかなか入れられなかった経験がございます。



介護難民をなくしたいという想いを、オーナーズスタイルの取材で語っています。詳細はこちらからご覧ください。→[アーバンアーキテック Zap7GGiKBs - YouTube](https://www.youtube.com/watch?v=Zap7GGiKBs)



※当社は地域の高齢者が安心して、老後の生活が送れる介護施設をこれからも増やしていきます！

【今月の介護ニュース】

障がい者は人材の宝庫

日経 11月4日

障がいのある在宅者は毎年増えているのに、就労している人は4%に満たない

日本は今「一億総活躍社会」の実現に取り組んでいる。少子高齢化で急速に進む人材不足は、国としても最優先の課題だ。



働き方の効率化やAI活用も進んでいるが、生産年齢人口（15～65歳未満）は減少傾向にある。高齢者が増え続ける日本は、現役世代の負担が高まっている。

コンビニやファストフード店で高齢者や外国人の店員をよく見かけるようになった。一方で、人手不足の日本にあって障がいを持つ人たちは、日本の埋もれた「人材の宝庫」ではないだろうか。

※当社は、障がい者の方々が自立してもらう為の障がい者グループホームの建築・運営に力を入れています。また、他社運営会社からのグループホームの建築依頼もいただいております。地域社会の貢献をさせていただきます。

株式会社 アーバンアーキテック

〒312-0046
茨城県ひたちなか市勝田泉町4-17

電話：029-276-0660
FAX：029-275-5661

首都圏営業所

〒110-0015
東京都台東区東上野3-21-3 若井ビル2階

電話：03-5846-8861
FAX：03-5846-8865

柏営業所

〒277-0023
千葉県柏市中央1-4-17 小宮第三ビル201号室

電話：04-7138-6235
FAX：04-7138-6237